



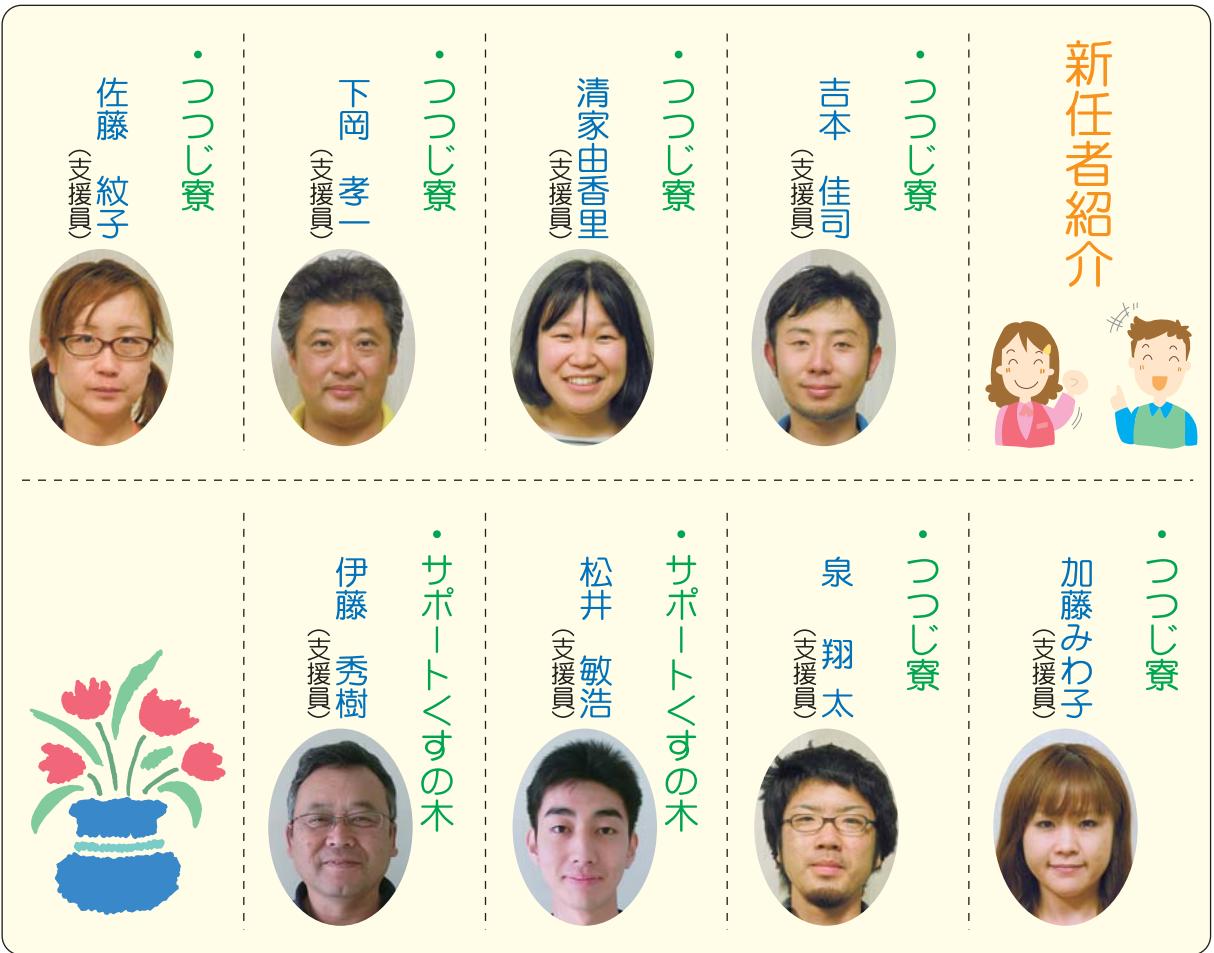
The logo consists of four large, stylized letters: 'G', 'O', 'T', and 'O'. The 'G' is a green L-shape with a yellow outline. The 'O' is a green circle with a yellow outline. The 'T' is a green cross-like shape with a yellow outline. The second 'O' is a green circle with a yellow outline. All letters have a thick green stroke and a thin yellow stroke.



●つづじ寮 親子旅行 リニア鉄道館にて

第29号 contents

- 相談支援事業所オープン 2~3
 - 施設だより 4~9
 - ケアホーム運営体制の強化 10
 - 各施設寄付物品及びボランティア 11
 - 新任・退職者紹介 12

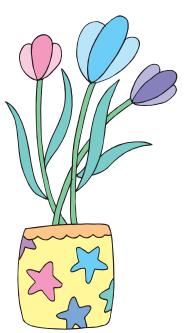


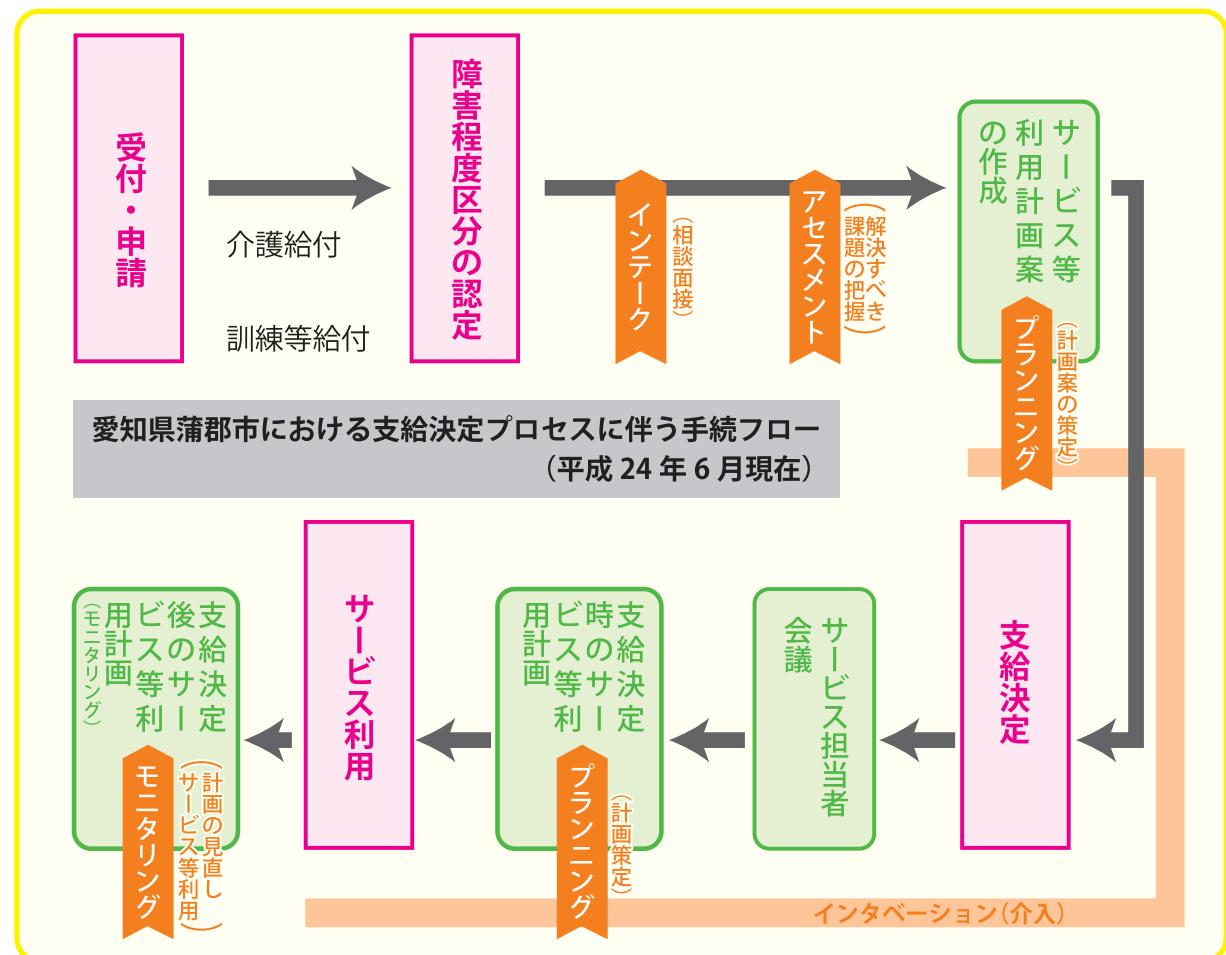
・つづじ寮	・サポートくすの木	土居	幸恵
・つづじ寮	↓サポートくすの木	丸山	泰正
・サポートくすの木	↓わくわくワーク大塚	原田	敦史
・サポートくすの木	↓つづじ寮	榎山	幸広
・サポートくすの木	↓つづじ寮	萩原	とよ子
・わくわくワーク大塚	↓ひめはる	佐藤	安弘
・わくわくワーク大塚	↓サポートくすの木	萩原	弘治
・つづじ寮			
・つづじ寮			
・サポートくすの木	数井詠美子		
・サポートくすの木	佐藤		
・サポートくすの木	清家		
・わくわくワーク大塚	松衛		
加藤	打桐		
基子	忠男		

広報くすのき(年2回発行)

■発行元
〒443-0013
愛知県蒲郡市大塚町後広畠85番地の1
TEL (0533) 59-7221
社会福祉法人 くすの木福祉事業会
■<http://www16.ocn.ne.jp/~kusu/>

くすの木福祉事業会 | [検索](#)





ご本人が「本当に生き生きと生
活の実現を目指めたね」…
サービス等、利用計画を作
成します。

特集 障害者サポートセンター すてっぷ (相談支援事業所)

障害者自立支援法の一部改正では、平成24年4月1日より、障害福祉サービスを利用するすべての障害を持つ方に対し、サービス等利用計画を作成しケアマネジメントを行うことが義務づけられました。このサービス利用計画は市が指定する指定特定相談支援事業者・指定障害児相談支援事業者の相談支援専門員が行うこととなり、当法人におきましても、蒲郡市より指定を受け、7月1日に指定特定相談支援事業所、障害者サポートセンター「すてっぷ」を開設いたしました。事務所は、ケアホームひめはる内に併設し、相談支援専門員が計画相談等に対応いたします。

申請からサービスを受けるまでの流れは次のとおりです。

●利用予定者が市に申請

- ・障害程度区分を受けていない場合は認定調査

●市が申請者に文書により計画案の作成を依頼

- ・申請者が指定特定相談事業者と利用契約。

●指定特定相談事業者が計画案を作成し、申請者に交付

- ・申請者が市に次の3点の書類を提出。

 - ・サービス等利用計画案

 - ・計画相談支援給付費・障害児相談支援給付費支給申請書

 - ・計画相談支援・障害児相談支援依頼(変更)届出書(契約した相談支援事業者の届け)

●市がサービス支給決定を行う。

●申請者が契約した指定特定相談支援事業者に依頼し、サービス利用計画を作成してもらう。

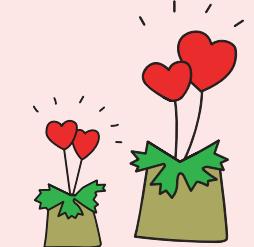
- ・事業者は、サービス提供事業者と共にサービス担当者会議を開催する。
- ・申請者が作成された利用計画を市に提出。

●併せて計画相談支援給付費の支給(モニタリング期間等を記載)を通知。

(受給者証に必要事項を記載)

●申請者がサービス提供事業者と契約。

●サービス利用開始



サービスを開始後も定期的にモニタリングが行われます。

以上の流れを図にしてみると、次のようにになります。なお、「すてっぷ」では、一般相談にも応じております。

さらに、詳しい内容等を知りたい方は、

■蒲郡市福祉課、基幹相談支援センター(蒲郡市障がい者支援センター内)
もしくは、

■障害者サポートセンターすてっぷ(蒲郡市大塚町後広畠25番地4)

TEL (0533)59-7215 佐藤

までご連絡下さい。

利用者さんの要望を聞いて相談したり、行事に参加したりと仲良しコンビで今年の自治会活動を頑張りますので宜しくお願ひします。

副会長 杉浦 敏子 会長 春原 鈴子

リハビリマネジメント

はじめまして。理学療法士の吉本佳司です。1年前からボランティアとしてつづじ寮を訪問し、縁あって4月から生活支援員として働いています。

近年、日本では高齢化が加速していますが、つづじ寮も例外ではなく利用者様の高齢化が著しい状況です。高齢になればなるほど体力低下が生じ、転倒などによるケガ・骨折の危険性が増えてきます。そこでリハビリの出番です。リハビリと聞くとケガをした後のマッサージなどをイメージされることが多いですが、運動や体操による体力低下の予防、これもりハビリの1つです。

理学療法士としてリハビリを提供することにより、利用者様の体力維持と健康維持に役立つよう努めています。

ホームページリユース

はじめまして
ホームペー^ジとブロ^グ担当の大須賀です。
今まで長くご愛読いただきまし
たつづじ寮のホームページですが、
今年の2月10日にリニューアルいた
しました。
法人本部の情報や利用者の方と共に
取り組んでいる日中活動と創作活動の
画像をふんだんに取り入れてい
ます。

今後もつづじ寮の最新情報や四季
折々の行事紹介などを織り交ぜながら、
ホームページを充実させていき
たいと思います。

ぜひご覧下さい。

<http://blog.canpan.info/kusu/>

カンボジア訪問

はじめまして
海外ボランティア
発展途上国への支援活動を行っている
NPO法人オアシスから協力要請があり
1/13～1/18の間、同行させていただきました。
きました。カンボジアはアンコールワット
などの世界遺産が有名である一方、長
年に渡る内戦から約20年が経ち、電気や
水道、道路の整備、産業の開発などの課題
を多く抱えた発展途上国です。
現地では、メンバーが子供達の栄養補
給やサイエンスショーの披露を行いま
した。私が炊き出しのお手伝いをするの
で、いつもお母さん達が集まって炊き作りを担
っていました。外部から物資などを援助
するだけでなく、自力で活動が続けられ
ました。本当に必要な支援は何なのかを考
えさせてもらいました。
ただ、お母さん達が集まつて炊き作りを行
つていて、その目的とした炊き出しと、マジ
ックやサイエンスショーの披露を行いま
した。私が炊き出しのお手伝いをするの
で、いつもお母さん達が集まって炊き作りを担
つていて、そこから未来につなげていくた
めの人材育成が支援の大きな目的なのだ
そうです。直接的なお手伝いはできませ
んでしたが、そうして国々の実情を知り、
本当に必要な支援は何なのかを考えさせ
られる貴重な体験でした。

カンボジアを訪れたのはこれで2回目
だったので、出会った方々の笑顔が
とても素敵なのです。機会があればひ
また訪ねたいと思います。

平成24年8月1日 4

ひがす 白帰り あやこ 親子旅行

24年3月
ついでにカラオケを楽しみました♪

O系新幹線の前で記念撮影♪

ついでに新幹線の前で記念撮影♪

ツツジ RYO
つつじ寮

「夢の自動販売機」設置しました

豊橋中央高校様より
デジカメ・デジタルビデオ寄贈

豊橋中央高校様より
デジカメ・デジタルビデオ寄贈

「夢の自動販売機」設置しました

つづじ寮の中庭に設置している自動販売機が変わりました。飲料1本につき10円が、日本財団へ寄付され、様々な社会貢献活動に活用されます。日頃のご支援に感謝しながら、コーヒータイムのひとときにはノドを潤して…少しでも時間がかかる間に協力できずですが社会貢献に協力できます。ありがとうございます。

せいじん いわ かい 成人を祝う会

いちがつむいか せいじん いわ かい おこな
1月6日に成人を祝う会を行いました。
ことし にめい りょうしゃ せいじん むか
今年は2名の利用者さんが成人を迎えました。

みんなで
みきねさつえい
記念撮影

せいじん 成人おめでとうございます!!

これからも
しごと がんば
お仕事頑張ります

サポートくすの木

企画委員会長 棚橋 稔子
副会長 酒井 幹夫
企画委員会員 平成二十四年度
自治会役員
会員
副会長 酒井 淳仁
副会長 酒井 知果
副会長 高橋 すえ子
副会長 竹内 宏昭
副会長 村上 直美
副会長 正木 直樹
副会長 小笠原 康真
副会長 井上 明彦
副会長 荒川 悠
企画委員会員
会員
副会長 酒井 淳仁
副会長 高橋 すえ子
副会長 竹内 宏昭
副会長 村上 直美
副会長 正木 直樹
副会長 小笠原 康真
副会長 井上 明彦
副会長 荒川 悠

いちねんかん 一年間このメンバーで頑張っていきます!
がんば

元気班で頑張っています。
高木 健伍さん

第2課木工班で頑張っています。
谷内 快児さん

第1課のクリーニング班で頑張っています。
三好 良佳さん

基盤整備事業

基盤整備事業にて木工班に「レーザー加工機」、「かふりえ班に「業務用冷凍冷蔵庫」「スチームコンベクションオーブン」を導入しました。レーザー加工機導入により、今まで不可能だった加工や製品作りに幅が広がりました。スチームコンベクションオーブンについては「蒸・揚げる」等の調理が可能となり、蒸しパンなど幅広いお菓子を作れるようになりました。業務用冷凍冷蔵庫では、クッキー等の生地の保存

がたくさん出来るようになり、大量注文にも対応が可能となりました。これから的生活活動の大きな力になつてくれると期待しています。

選択レクリエーション

3月2日に選択レクリエーションに出かけました。遠出コースでは静岡県浜松市内にある航空自衛隊広報館「エアパーク」に行つてきました。本物の航空機や展示物を見学したり、シユミレータコーナーで操縦を楽しんだりしました。久しぶりの遠出でドキドキしましたが、楽しく出掛けられました。くすの木も色々な意味で大空に羽ばたきたいです。

ゆっくりコースでは岡崎市の八丁味噌工場見学に行つてきました。味噌蔵の見学や八丁味噌を使用したみそ汁の試飲、さらにおみやげまでいただいてみんな満足そうでした。昼食は岡崎市内のハイキング店にて焼き肉やお寿司、ケーキなどをお腹いっぱい食べとても楽しいレクリエーションでした。



委託作業科

現在、利用者23名、職員8名で毎日地元の企業7社から委託作業を受注し、作業に取り組んでいます。

仕事が大好きな利用者さんは、忙しい時ほど嬉しそうにしています。毎日コツコツと、確実に作業に取り組む姿には頭が下がる思いです。そんな利用者さんと一緒に、忙しく頑張っています。

注文は
まで
わくわくワーク大塚
Tel 〇五三三一五九一七七二八

自主製品班

自主製品科では、クリーニングの他、自主製品の作成と菌床しいたけの栽培を行っており、利用者24名、職員7名の総勢31名で販売しています。

縫製品と焼き菓子を中心とした製菓を作つて、各々で活動しています。

や販売会種バザーで販売しています。

おおつか 大塚

療育活動だより

昨年4月に生活介護棟が完成し、自分の力だけで運動することの出来ない方のための電動ペダルこぎ、足首の柔軟性を鍛えるマシン、血液の循環を良くする足湯、肩もみマッサージ等を揃えました。

一年がたち、ようやく形が出来てきています。おしゃべりしながらの運動でストレス発散やリフレッシュできる時間になつているかもしくれません。今後は休憩時間に興味津々で覗いていても作業が忙しくてなかなか参加できないこともあります。おしゃべりしながらのクラブ活動等で利用できる機会を作つていただきたいと思っています。

いつか地域の皆さんのが気軽に楽しめる。今後は休憩時間に興味津々で覗いていても作業が忙しくてなかなか参加できないことがあります。おしゃべりしながらのクラブ活動等で利用できる機会を作つていただきたいと思っています。

新メンバー紹介

牧原 充央さん

4ヶ月からわくわくワーク大塚自主製品科で働いています。お仕事も頑張っています。

今泉 正樹さん

4ヶ月からわくわくワーク大塚委託作業科で働いています。お金をたくさんもらえるように頑張ります。

ぜんたい 全体レクリエーション

とてもいいお天気の中、豊橋動物公園に行つきました♪ おいしいお弁当を食べ、たくさん歩き、かわいい動物を見て、みんなで一緒に楽しい1日を過ごしました♪



平成24年 5月19日(土)

マーラには会えず。
でも大きな象に感激!!



平成24年度

自治会紹介

あたら新しい「わくわくワーク大塚」の
自治会の役員が決まりました。
「わくわくワーク大塚」で
ますます楽しくお仕事や生活が
できるように頑張って下さい。

会長
大須賀義章

副会長
市川 昭一

役員
中瀬由味子・稻葉 悅子
鈴木 綾子・小島真理子
平野有佳里・山田 兼司

